

マザーハウス

# たより

**あなたは愛されるため、また、愛するために生まれてきたのです。  
あなたが必要であり、大切です。マザーハウスはあなたの家族です。**



絵：エイルさん

2024

4

月号

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 2 理事長挨拶       | 16 健康相談窓口     |
| 4 塀の中のたより     | 18 福音たより      |
| 13 特集「出所後」    | 22 HAPPY DAYS |
| 14 ささきみつおコーナー | 23 お知らせ       |



# 理事長挨拶



昨今の寒暖の激しさ、まさに三寒四温という感じですが、この「たより」が皆さんの手元に届くころはどうなっているのでしょうか？初夏のようか、まだ寒いのか・・・。いずれにしても皆様ご自愛ください。さて、年度が変わりましたが、今年度は助成金、補助金とも受けることが絶望的な状況です。皆さまの年会費、ご寄附にマザーハウスの活動の存続がかかっております。他の役員もそうですし、私が無報酬で理事長を引き受けたのは、それぞれ千人近くいる受刑会員や文通者などの受刑者や、元受刑者の衣食住の支援など、受刑者・元受刑者の更生のために「マザーハウスの活動」を止めないことが目的であり、法人の保身が目的ではありません。恐れ入りますが、ご理解とご協力のほどよろしく願います。

ところで、少し前になりますが、2月28日「ノルウエーの司法制度改革の成果と、日本の矯正・更生保護施設の今後」※主催：日本財団職親プロジェクト 協力：ノルウエー王国矯正局／ノルウエー王国国家調停委員会／法務省」というイベントに行ってきました。私は、ノルウエーの司法改革と、特にその結果について非常に興味を持っていましたので、参加しました。そこで、私が、強く感じたことを紹介させていただきます。

どのような改革かという点、少年院と成人の刑務所の対応を一緒にするというもので、より更生に目的を置く少年

院のやり方で統一するというものです。そうする理由は、多くの犯罪は、子供の頃に負った心の傷が大きく作用していることが原因ということらしく、それが早く現れたのが少年の犯罪で、大人になってから現れたのが成人の犯罪であり、結果、その傷を癒すことに重きを置くことが再犯防止にもつながることなのではと思います。懲罰は必要だとは思いますが、それだけでは再犯は減らず、結果として被害者が増えてしまっているということから、大きく舵を切ったということと考えています。

何故そのような発想になるのかというと、私が思うには、彼らには、キリストの教え（※キリスト教徒や教会に通う人は減少中のようなです）が文化として染みついており、その一つが肉体の中に霊（心）が宿っているという発想です。その解釈は、肉体は、時に応じて変化をしていきます。対して霊（心）は、時に作用されません。専ら経験などにより変化します。肉体年齢とは別に、精神年齢などという言葉があるのはそのためでしょう。

何が言いたいのかと言えば、大部分の受刑者の心（霊）が傷ついた時期が同じ時期（子供の頃）であれば、年齢に関係なくその傷の癒し方は一緒であり、そうすることが再犯防止に繋がるということからなのではと思います。私はこのように考えていますので、この取り組みを行った結果に非常に興味をもっていました。

ところで、私は理事長になってから、受刑者、刑務所・政府、社会、そしてマザーハウスがチームとしてそれぞれの役割を果たすことが、再犯防止を勧めていくためには不

可欠だと表明しております。受刑者は、更生に励み更生していることを見せ、政府や刑務所は、懲罰以上に受刑者が出所した後、しっかり生活できるかに重きをおき、社会は、元受刑者は普通に生活することを望んでおり、刑務所はしっかり更生させるために必要なことをしたと信用し、受け入れるというようなことです。マザーハウスの役割は、その流れを作ることです。これが私の考えるチームプレーです。

実はこのチームプレーについても、ノルウエーの取り組みと成果から大きな励ましとヒントをもらうことができませんでした。特に関心を持ったのが、ノルウエーでは終身刑も無期刑もなく、有期刑のみ（最長21年）ですが、満期を迎える前にしっかり更生できているか裁判があり、更生十分と判決がでると5年延長され、5年後も同様の裁判があるということ。私のところに、無期や長期で受刑中の人から、たまに手紙をいただく内容に、まじめに取り組んでいる人と投げやりになっている人でも結局は同じ刑期になっているのは、納得がいかないという意見をたびたび拝見します。私は、その感情は当然と感じています。ノルウエーでは、ほとんどの人は満期で出所するということです。

それは、  
1 無期刑と違って、更生したと判断されれば満期で出所できるという希望があること

2 日本の長期刑と違って、満期になっても更生が不十分

と判断された場合出所できない実質無期刑と同じなので、真面目に取り組みやすい仕組みができてきているということではと思います。

さらに、これらの国と刑務所の取り組みを社会が信用しているようで、出所者の受入れに抵抗が少ないようです。結果、受刑者、刑務所、社会のチームプレーがすでに出て来ていると感じられます。

象徴的なやりとりが、イベントの質疑応答の時にありました。ノルウエーの官僚が「受刑者が働く工場や農場に、ノルウエーでは多くの場所で逃亡防止の柵がありません。」と言うと、日本の官僚が「逃げないのですか？」と質問しました。それに対しての答えは「ほとんど逃げませんが、年間3人くらいです。」私は、「3人でもまずいんじゃないかな」と思っていると、「でも、全員戻ってきます。脱走した後、彼らが冷静になると、ずっと怯えながら隠れて暮らすより、満期で出所した方が良いと考えるかららしいです。満期で出れば社会が受け入れてくれると彼らも信用しています。」

正直驚きました。この取り組みが今後どうなるかは、注視していく必要があるでしょう。また、人口500万人程度のノルウエーと1億3千万人近い日本ではそのまま適用できないことも多いでしょう。ただし、多くのヒントが隠されていると感じます。マザーハウスでは、このような流れを促進できるよう取り組んでいきたいと思っています。

# 塀の中のたより

無期刑で25年目に入り…

C刑 トコさん

「たより」を拝読の皆様、「マザーハウス」で繋がる皆様、本年より入会させて頂き、初投稿させて頂く、C刑の「トコさん」こと、6月には59才と成る、入所以来の無事故で、25年目に入つて居る私です。今後とも皆様、宜しくお願い申し上げます。

人としての道を踏み外し、罪を犯してしまつまでの経緯、自身の生い立ち、生き方、経験と思考を振り返り、皆様と共に考え、過去、未来と向き合い、未来へ繋げる何か。経験や情報に知識等を、今後を努め抜く糧に出来るか。更生と社会復帰へ向けて、全てを生きる力に変へ、挫けず腐らず、人としての心も、自身の信念も保ちつつ、人の尊厳や人権、人道も見失う事なく、貫けぬ場所にあつても忘れず、仮釈放を叶えて、更生した証しを示せるかを、自身の目標に掲げて居るので、公言させて頂ければ幸いです。

## 受刑者からの手紙

受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙を紹介します。

今回は先ず、25年目に至るまでの経緯、実状、様々な現実を受け止めての現状、正直な感想等を送つて頂いた「たより」の2023年10月号より、共感や感銘を受けたり、疑問に思つた事等の中から、「無期懲役囚の皆さんに聞いてみたいこと・I刑リンリンさん」の投稿に涙し、答えに成るか解りませんが、応えたいとの思いで、ペンを取らせて頂きます。

1998年12月、求刑、判決共に無期刑で赤落ちして、1999年1月、C刑に入所（服役）。同年同月、生産工場へ配役。入所以前の弁護士説明、入所時の新入教育説明等で受けた通り、真面目に努め抜けば17年前後で、仮釈放に成ると信じて目指すと決意。帰りを待つ妻と両親、親族、恩師、友人知人等、二度と裏切らず、悲しませずにと誓い、厳しくも温情ある担当さんのお陰で、3年程で配食係、衛生係を任された後、経理舎内掃工場へ転業。そこで配食係、作業班長で務めて居たところ、網膜剥離の症状が表われ、C刑の杜撰な対応等と、医療刑務所の医療ミス（レーザー治療と二度の手術中）により、メガネで矯正もせず、歪にしか見えずに0.1以下の視力と障害を負い、0.7程に保った左目にも痛みと、様々な



症状が不定期に起き、現在に至っても症状緩和対処、治療もまともにして頂け無かったので、制度を活用して教示、相談、苦情等で、身を守る為の改善を求めたり、生活上の問題点の提示をして参りました。術後、木工場、製本工場と計5年弱務めた後、経理洗濯工場へ転業し、10年以上務め、計算係と作業班長を任され、官の為、同囚の為にと尽力していたのですが、不当な権力の行使、横暴な計り事を受け、違反行為を起こした訳でも、自身に非がある訳でも無いのに、制度を活用した願箋での申告や、外部への報告、支援団体等への事実の投稿で、閉ざされた刑務所内の真実を晒され逆上したとしか思えぬ恫喝に脅迫まじりの転業で飛ばされて、目を酷使する工場だからと出た、製本工場へ戻され2年です。

実質上の降格処理ですが、無事故ですので、2種B2類の立場のままです。未決も含め、収容される身となった27年程の間には、掛け替えの無い大事な方々との別れ、逝去での死別をはじめ、入所後の改正などにより、収監期間が20年では終えず、30年どころか、先の見えない無期刑と成った為、一回り下の妻とも入所8年程で別れ、待つて居て下さった方々の諸事情も変化して当然、支え切れずに離れる方々等、辛く切ない様々な現実、悲しみを重ね、6年前には父が、一昨日には母も逝き、家族も全て無くなりました。仮釈放へ向けての受け入れ等も、備えてきた諸々が長期に成り過ぎて、調整のし直しを余儀無く迫られ、更生保護施設、保護司様以外は、

帰住地の自宅をどう維持、管理して行くか。身元引受人をどうするか。雇用主の変更依頼等に追われての一年程でした。その中で挫けず、腐らずに進むしか、無期囚には仮釈放の道が無い為、自力で制度を活用し、法も規制も守った上で、関連機関の各長、法務大臣までと銘々に事実の申告等を行い、刑務所内の悪しき実状、不当な権力の行使に横暴等を、知って頂くべきと決断し、東京矯正管区局長、関東更生保護委員会委員長、法務大臣へと、全て行った他、保護司様を通して保護観察所へ、又、受け入れ保護施設長様、弁護士、弁護士会人権擁護委員会へも申告させて頂き、人権擁護委員会からは、人権救済申立てを受理して頂き、調査を行う為の同意書等も届き、同意させて頂いた次第です。社会通年上に照らし合わせ、問題視すべき事案だと、認定した頂いた事に意義があると、今後の改善に繋がればと、絶望するばかりです。私の対処法、更生への取り組み、考え方等、同囚との距離感も含め、次回以降にさせて頂きます。又、以上は立場を弁えた上で、感謝すべき事には感謝し、改心と自戒をした上で、人として、更生すべきとの信念に基づいた決断での事です。

改めて「リンリンさん」、こんにちは。私も同罪名で、26年程前に無期懲役と成りました。何より厳しい立場、求刑死刑の判決無期。伝え切れぬ程の苦悩、葛藤があると察しますが、「生きなければならなくなった」との思いは、払拭されたでしょうか。克服されたからこそ、現

状であると信じております。当時の私も、死を持って償うべきかと考えましたが、被害者様に対しても、罪を償う責任においても、死は逃げ出すことでしかないと感じ、辛く厳しい道程であっても、生きて罪を背負い、命ある限りは償いで、償いとは、刑罰以上に人の尊厳、人権に人道を守り、人として更生し、最期まで命を全うする事こそが、無念でしかない被害者様に対する報いと成り、全てを背負い、命の限り生きてこそ、自立や社会貢献に繋がる、償いに成ると信じます。どんなに辛く苦しくとも、互いに挫けず、共に進んで参りましょう。

私は逆に、バリバリのヤンキーでした（苦笑）。誰もが、親を選んで生まれてくる訳でも、生い立ちや環境を選んだ訳でもないのに、酒乱でギャンブル狂でDVの父であっても、自分の考えが絶対で、干渉と押し付け、見栄っ張りな母であっても、ぐれて不良に成ったのも、誰のせいでもなく、自分の過去の証しでしかなく、誰かや何かのせいにはしたいところですが、苦境であっても自立して、人生を全うする方々も居る訳ですから、自身の選択ミス、意志の弱さ等が人生の岐路で表われ、現在に導いてしまったと後悔し、受け止めるしかないとの思いで歩んで参りました。良かった頃は誰しもが、「自分を中心に世界は回っているような」感覚と経験をした事がある筈ですので、皆様にも充分に伝わったと思います。「懲罰にならずに、被害者様に恥ずかしくない生活をする」との誓い、改心しての誓いは、素直で立派な誓いだと思

います。「最初は演じた真面目」でも、様々な不安と葛藤を抱えながらも、妄想で暴言を吐いても、現実での一線は越えずに衝動も柳へ、立場を弁えての生活は、常に緊張が伴い、ストレスが溜まる上に、視覚障害もあって、生き甲斐だった美容師の作業も奪われる等、私の現状も共感できる立場ですので、痛い程に気持ち解ります。自身の内だけで完結する妄想と、一類の立場を立派に掴んだ、恵まれた立場のCDで聴ける、好きなアーティストの音楽でガンガン楽しんで頂き、ストレス発散に当てて頂きたいと思っています（笑）。C刑でも、1類実施を切望するばかりで、カラオケ大好き、音楽大好きの私としては、実に羨ましい限りですよ（悲）！

私は25年目と、リンリンさんより3年程、服役年数が足り無い計算でしょうか。20年以上も収監されて居たら、誰だって、何等かの拘禁症状！おかしくも成りますよ（涙）！心身と自身の尊厳、信念を保ちながら、虐げられた環境にあっても、生かされて居る感謝も忘れず、心情は殺さず、表面に出せずとも心の中で育み、例え、40年前後掛ろうとも、必ず仮釈放を掴むと信じて努め上げましょう。リンリンさんの思いは正道で充分に純粹ですので、ご自身を愛して信じ、決して希望を捨てず、諦めずに耐え抜いて下さい。陰ながら応援し、「孤軍奮闘」で進んで参りますので、リンリンさん、皆様共に、「不惜身命」の覚悟で頑張りましょう！

## 私の今の生活②

K刑 マコちゃんさん

令和6年2月1日から私のいるK刑は職員が受刑者に対して「さん」付けで名前を呼ぶようになり、受刑者は職員に対しては「担当者さん」もしくは「職員さん」と呼ぶように指導されました。何でも全国の刑務所が一律そう呼ぶ様になったこの事でテレビのニュースでも見ました。それと同様にバスタオル、化粧品、乳液、リンス2種類の購入が始まりました。私の工場でもさつそく差入れ、購入など何人かいた訳ですが、この購入も全国一律同時に開始されたので2月の購入で申し込んだ人達は在庫不足で商品がいつ入荷するか分からないとの事で注文した人はがっかりしておりました。

しかし、差入れの方は何人か入っていました。でも、これは私の考えですが、化粧品、乳液などは女の人を使う者のじゃないかなーって思うと同時に丸坊主の私達の頭にリンスなんか必要かって思ったりします。値段も高くて1本990円。しかもリンスの入れ物をどうするのか、そういう具体的なことが決まっておらず、何を考えているのか理解に苦しむ事があります。どうせ買わせて

## 受刑者からの手紙

受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙 - つづき -

くれるなら冬の矯正指導日はとても寒いのでカイロを買わせてくれるとか、そういう事を思っている受刑者もいると思いますので、アンケートでも取ってくれたらいいと思います。

K刑は共同室、独居共に廊下に空調がついており、夏はエアコン、冬は暖房が入ります。共同室は舎房に窓があり、夏、冬と共に窓を開けられませんが、なぜか独居の冬は暖房が動いても食器の下を開けてくれないので意味がないです。職員のための暖房なのでしょう。せっかく暖房を動かしてくれるのなら食器の下を開けて夏のように廊下に大型扇風機を使えば全然違うと思います。

この冬の間の暖房を動かすための電気代は税金で払われている訳ですからそんなのに予算を使うなら他に使った方がいいのではないかと思います。しもやけでつらい思いをしている人もいます。どこの誰が刑務所のルールを決めているか知りませんが、もうすぐ春が来ますので、みなさん頑張ってみましょう。





## 私達が出来ること

ドブねずみさん

私の呼掛けの意志を確り皆様理解して頂きたい。まず、「無期刑の仮釈について」だがこれに関しては、現状30年立っても、35年・40年立っても、無期刑の仮釈は略無い。光が見えない環境だ。確かに、無期刑という事は重大な事件を犯し、社会的に大きな影響をもたらした。しかし、その様な極悪人でも、「絶対的権限の中で運営する刑務所の中で」犯した罪と確り見つめ合いながら、自我を押し殺し、粛々淡々と過ごしている方々が居るといふ事。又、その様な受刑者をサポートし、社会復帰を一緒に目指す、刑務官が居るといふ事。これは事実であって、社会には届かない真実である。そして、「高齢受刑者の早期釈放」については、この様に粛々淡々と過ごして居る無期の方々には、どんどん歳を重ね、高齢化してゆき、やがて「獄死」をするのが、今の刑務所、国の進め方である。同じ無期刑でも、さまざま無期刑の方が居る中、一色たんで黙視するのは絶対に違ふという事。

次は、「刑務所のあり方について」だが、これには様々な意見があると思うが、絶対に自分本位

## 受刑者からの手紙

受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙を紹介します。



の考え方を辞めて頂きたい。必ず、今の現状を書き、この様に改善してほしい。この様なやり方に変えてみてはどうだろうか？など、それに対しての確りとした、明確な意見、改善策を書いてほしい。「文句だけは辞めて頂きたい」のだ。

今、私を変えたい事は、死刑制度を無くし、死刑を無期刑に。無期刑を30年以上の不定期刑に見直す事だ。まず、死んで、殺して罪を償う遣り方は更生に繋がらないし、死刑にしたからといって、被害者の感情は治せるのだろうか？と思う。被害者遺族の心の傷は、一生消えない。ならば刑務所という空間で生き、生涯を終えるまで確り、犯した罪と向き合いながら、感情と戦いながら遺族に謝罪する方法を取った方が双方の為になると私は考える。次は無期刑だが、有期刑が30年となった今、30年以上経過しなければ、仮釈の対象にはならないが、30年立った時点で、その前から、何度も掛け、その方々と確り何度も面談を重ね、工場担当の意見を聞き、その方々の人柄、考え方を重視し、確り受け止めなければならぬ。「犯した罪と向かい合いながら、社会で生きてゆく事がどれ程過酷か、強い意志、覚悟が必要である」といふ事。この様な方向性で進めば、無期刑の方々の「光」は必ず見え、生き甲斐を感じるであろう。今は、終身刑。「光が届かない場所で生きて居る」



のが現実。

獄中の皆様に、新たな提案がある。皆様は刑務所という場所に来て、何を学んだだろうか。先程書いた通り、「絶対的権限の中で生活をし、自己主張など一切認められない空間で」私たちは生活をし、社会復帰を目指して居るが、おそらく後悔が先に来るだろう。そこで社会に居る若者に、この「儚さ」を伝えてみようではないか。「犯罪者を無くす。これ以上作らないキャンペーン」を、私たち受刑者が声を上げ、「刑務所に来て何も得るものは無く、失うものの方が大きい」って事は、社会に届けよう。これは、刑務所に来た人間にしか分からない事。この行為は、社会に貢献する事に繋がり、社会の「為」になる事だ。この様なことをするだけでも、社会の方々の「目」は変わると思う。

皆さんは、社会の方々、被害者、被害親族の方々に、どの様に呼ばれて居るのか？考えた事はあるか？「受刑者」これは本当に優しい呼び方であり、全員が、「犯罪者」それ以上に強い呼び方をすると思う。これは当たり前で、当然の事だ。12月から、「被害者等の心情等の聴取・伝達制度」というのが始まった。これは、国が被害者・親族に配慮した事だと思う。今回私が、獄中の方々に呼び掛けをしたが、必ず忘れてはならない事、それは「被害者・親族を無視してはならない事」だ。原田理事長に手紙、意見を書く上で、一番大切な事は、「被害者、親族の事を確り考え、配慮した内容」であって、自分本位、相手の方々の

気持ちを見無視する様な方々には書いてほしくない。私たちの立場を確り考えた上で、私が書いた、粛々淡々と頑張っている方々が居るといふ事を社会の方々に分かかって頂きたいのだ。私たちは、社会を見無視し、ルールを守らず、罪を犯し刑務所に来たという事を、決して忘れてはならないという事。

今回私が書いた文章を被害者・親族の方々、社会の方々が、どの様に感じ、どの様に受け止め、どの様に思ったのか？辛く、嫌な思いをさせてしまうとありますが、確りとした意見を述べて頂きたく思います。社会の方々の心境を知る事が、私たちの更生に繋がり、確り見つめ直す事ができ、再び罪を犯し、刑務所に戻る選択をしなくなる。何卒宜しくお願い致します。

私は今回原田理事長との手紙の遣り取りの中で、学ぶ事が沢山ありました。理事長は、私の手紙を読み、皆様の意見を確り聞き、社会に、国に届けてくれる事を述べてくれました。これは12月号に書いてある通りです。この私の思い、理事長の考えも全国の獄中の方々、社会の方々、被害者、親族の方々に届けたい思いから、各団体に投稿しました。多くの意見が届く事を祈ります。2025年に、一部、刑務所内の運営方法が変わります。それほどまでに皆様の声を届けましょう。

## 日々の受刑生活から

クレイティさん

現在初犯刑務所で11年半生活しています。これまでに工場で裁断機、機械工、指導工、配給係等の役を受け、資格は5つ取得、マジメにやっているかと思いきや、食堂で同囚をぶん殴り、自分の飯をズケ盛りし、嫌いな同囚の飯に嫌がらせをする配給係をグラウンドでどなりつけ飛ばし、朝食人気NO1の人気のきなこを残して、昼食人気NO1のパンとジャムに混ぜ、最強飯を作り食べているところを見られ罰を受け、(アレは最高にウマかったが、マネしないでくださいね)現在三年半無違反なのになぜか4年間処遇上、祖父母は全員亡くなり、父親は先日突然死、浮き沈み激しく人より多くを経験しました。

入所時は人間関係で苦しみました。考え方、生活リズムのちがう同囚との共同生活、他者の欠点、嫌なことばかり見てしまいストレスとなり、特に覚えが悪く、動作等遅れがちな年配者、知的障害者に対して、彼らは悪い事はしてないが、見ていてイライラするし、じゃま者扱いしかできず、小言を言う事はしょっちゅう、部屋から出て行けと思っていました。そんな私、A食の時もC食の時も体重70キログラムを保っていたが、ある年急に約一年で53キロまで落ちました。こなしていた筋トレができなくなり、腰痛は悪化、飯や運動、睡眠等、変わらぬ生活をしているのに変わって

いく体、受け入れがたく、凄くショックでした。私は社会では不本意で嫌な事から逃げ続け、自分の短所から目を背け、自分を否定して生きてきましたが、刑務所では逃げ場はなく不本意な事を受け入れるしかありません。

職員、同囚との人間関係、希望する工場、作業ができない事、体の弱体化、無実での反則、調査隔離、調査解除後の他工場への配役、類、等工の降格、社会にいたら絶対受け入れる事のない出来事にただ耐え、受け入れ向き合う日々、そんな生活を続けていたら、自分の欠点を認め、自分を肯定できました。すると同様に他者の欠点も受け入れ尊重できるようになり、他者や物事に対し寛容になり、ストレスを感じる事も減り、生活していて凄く楽です。自分が弱った事で年配者の大変さが想像できるようになり、自分の将来の姿でもあると実感。自然と年配者に対しやさしくなれます。同囚に対しての態度が変わると、他者も変わり、私に話しかけたり、助けてくれる同囚が増えました。

日々の受刑生活から、自分の言動が自分に返ってくる、明日は我が身という事を学びました。人の欠点、失敗を責めれば同じ風に合い、逆にフォローして助けてやれば助けしてくれる人も増えます。今、苦しい状況にある同囚に、バカな奴がいるなど笑ってほしくて余談も入れましたが、年配者や弱者に対してやさしい社会、刑務所であってほしいという私の願い、僭越ながら、私の経験を伝える事で皆さんの受刑生活のストレスが減り、平穏になればと考え投稿

しました。人のためじゃなくたっていいじゃないですか。自分の為にも他者にやさしく、人事ではなく、自分の将来の姿と考え、特に年配者にはやさしく接しましょう。最後に、皆さんは受刑生活でどんな経験をされ、心境の変化がありましたか？皆さんのお話も伺いたいです。

## 刑務所処遇について

M刑 na2さん

N 刑務所の事件がきっかけで、刑務官にカメラを付け、受刑者のことも「さん」付けで呼ぶことを順次施行していくことですが、他の施設ではどうなっているのでしょうか？私がいる刑務所では、一向にそのような動きが見られないどころか、一層受刑者に対しての口調が悪くなっているような気がします。受刑者のことを「さん」付けどころか、呼び捨ては以前からですが、巻き舌で呼び捨てし、テメーこの野郎、何か文句でもあるのか？ああ？などと、いくらなんでも、という感じですか。本来なら順番で、希望すれば行ける夜間独居も、人によっては希望も受け付けません。申請して不許可になるのではなく、最初から受け付けないのです。夏はとても暑く、周りでも体調を崩す人もいたのですが、「倒れるなら俺がいない時



# 受刑者からの手紙



受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙 - つづき -

に倒れるよ」などと言っているのを聞いた時には、正直ドン引きです。何かを頼んで、時間が経っても何もないので、どうなりましたか？と聞くと、ああ？待ってる！と怒鳴られます。他の工場からの声もよく聞こえてくるのですが、拡声器で、「おいら何やってんだ！※□◇#△！」などと、もはや聞き取れない叫び声を聞くこともよくあります。刑務所という場所柄、威圧的になるのは仕方がないことだと、私は思います。しかしながら、それにも限度があると思いますし、言って良い事と、悪い事があると思うのです。

皆が皆、やりたくて怒鳴っているわけではないと思います。しかし、完全に八つ当たりしている職員がいるのが現状です。怒られることは仕方ないと思います。しかしながら、ドスを効かせて巻き舌を使ったり、声が枯れるほどの大声で怒鳴るのは、人としてどうかと思うのです。他の施設はどうでしょうか？カメラが付いたら、ちゃんと変わるのでしょうか？カメラが付いても常時、受刑者と接触している職員に、有事の時ではなく常時、動画・音声を保存し、そのデータを他の書類等と同様に5年保存するのが、現実可能なのか疑問です。

話せばわかるという言葉がありますが、この相



手なら話せばわかってくれるという意味で使われることが多いですが、私は、相手が分かってくれればいいではなく、相手がわかるまで、話の真意を一緒に考えて、分かるだけではなく、ちゃんと納得してくれるだけ話を聞いてもらうことだと思います。ただ怒鳴ったり、一方的に相手の主張を否定し、斬り捨てる。もう少し倫理とは何かを刑務所は重きに考えても良いのではないのでしょうか。刑務所は学校ではありません。しかし、軍隊でもありません。学校のように職員が率先して道徳とはということを実現すべきだと思うのです。

## 「視察委員会」について

プリズムさん

たよりNO105 ドブねずみさんの「視察委員会」について返信をさせて頂きます。まず視察委員会への私の認識不足をこの投稿で指摘して下さった感じがします。ありがとうございます。規則で何ごとも管理されている刑務所に於て理不尽な事が多発するのはおかしな事と思いますが、現実では何かと理不尽なおこるものでドブねずみさんはそういう刑務所の問題や環境を少しでも良くするために、視察委員会を活用されるという事と理解しました。



# 受刑者からの手紙



受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙を紹介します。

そこでもう少し知っておきたいと思ったことは、この視察委員会が何を目的とした組織で、どういった方々で構成されているのか、また、その組織の持つ権限等の有無などです。またご存じの方がおられれば教えて頂ければと思います。矯正施設で構成を考え生活する上で制約や規制は当然と思います。こういう組織へ無茶な意見や提案は控えるべきだと思いますが、正当な事柄については受刑者としても提案や意見を言うことをもう一度考え、認識して行くのが良いのではないかと思います。

どんどん提案や意見を行っていくべきか、それともまったく意味がない、嫌がられるので見て見ぬフリが良い、等々、皆様のお考えをお聞き出来ればと思います。

今回の様に視察委員会やまた監査に関わる部署や組織が適切に機能している事などを知ることや考えてみることは受刑者としても大切なことだと思いますが如何でしょうか。  
では皆様のご健康をお祈りし失礼致します。

# 特集 「出所後」

## 出所後の生活

N・Iさん

厳しい環境施設で生活を送る皆様方には、お変わりなくお元気でお過ごしでしょうか。私は皆様方には申し訳ないのですが、今年の1月の終わりに、一步先に出所することが叶いました。私は今度の勤めが約12年でした。判決を受けて刑務所へ行くのも不安がありました。8度目の刑務所生活を送ってきた私でも今度は本当に不安でした。私の事件は、仮釈放の縁など無いと思っていたのですが、私がいた最後の工場でお世話になった担当さんのおかげで仮釈放に結び付きました。ですが、それはそれで不安でした。不安の数をあげるときりがないので、一番は引き受けのことでした。私は今回のことで妻や子供達、家族には本当に迷惑をかけてしまったため、勤め中は一切連絡をとっていませんでした。そのためは仮釈放など」と思っていたのですが、工場の担当さんの助言から満期までの時間こそありませんでしたが、保護会への入所へと進めてみたのです。始めは、保護会の入所など無理だと腹を括っていたのですが、担当さん達のおかげで無事に入所することが、こんな私にも叶ったのです。

私は出所前の教育を受けている時も、今のこの様に保護会で生活を送っていても、本音を申せば不安だらけなのですが、それでも普段こそ嫌いな担当さんでも嫌いな者達であっても、信じてみるということの大切さを今は思い知らされています。確かに勤めている時もそれこそ今でも社会でも誰でも厳しいと思います。社会は毎日色々なところもあるのも確かです。私は人を信じるのが苦手なのですが、自分自身が真面目なことをやっていれば、良い方に空気が向くということが分かるようになってきました。

私も出所したばかりではありませんが、せつかくのチャンスをおいただいたので、このチャンスを生かし続け、もう一度、残りの人生を変えて行きたいと思っています。世の中、矛盾したこと、不安なことも多いのも確かですが、その様なことよりも幸せに繋がること、良いことがあるのも確かです。各刑務所施設では桜も咲き花見、観桜会の時季へとなりますが、皆様方も刑務所の中での楽しみを待つのではなく、社会での幸せ、楽しみに向けて、体に気を付けてお過ごしください。一步先に出た私ですが、皆様方の復帰を心よりお祈りし、筆をおかせていただきます。

# ちちきみのおコーナー

## 希望は力なり

### 1 中国人の明るい希望

「ミスター・ササキ、これからはビジネスを手段として福音を伝えていく時代です。中国と韓国と日本のクリスチャン・ビジネスマンが協力して世界中に福音を伝えていきましょう」

香港にいる知人のクリスチャンが来日した際に、自分がメンバーになっている東京麻布のアメリカンクラブで会食しながら、私に対してこう語った。将来の希望に目を輝かせながら、自分がいかにしてビジネスを通じてアジア各国に福音伝道の拠点を設け、そこから大勢の人々が救われているかを、時間が経つのを忘れるほど熱心に話してくれた。

1997年に香港はイギリスから中国に返還されて以来、中国化が進んでいるが、彼は希望をもって生き生きとしていた。

### 2 日本人の暗い失望感

2019年に行われた「18歳意識調査」によると、インド、インドネシア、韓国、ベトナム、中国、イギリス、アメリカ、ドイツ及び日本の9カ国のうち、「将来、自分の国は良くなる」という希望を持っている日本人はわずか9.6%で、最低であった。中国人は96.2%が自国の将来に希望をもっているので、その十分の一にすぎない。また、「自分で国や社会を変えられると思う」と答えた日本人は5人に1人で、残る8カ国で最も低い韓国の半数以下であった。（日本財団、2019/11/30配信）

国家と社会を背負っていく若者の大多数が日本の将来に失望しているということは由々しき事態であると思う。希望を失うと、生きる気力が失われ、ただ状況に流され翻弄されるだけの人生になっていく。失望はやがて絶望になり、絶望は人を死に至らしめる。（キルケゴール：「死に至る病」）



### 3 希望を持つには

それではどうしたら希望を持つことができるのでしょうか？

Aさんは東南アジア某国の会社で日本から派遣された社員として真面目に働いていた。ある日、現地のバーで知り合った女性に頼まれて小さな鞆を預かった。その翌日、数名の警察官が彼の住んでいたマンションを家宅捜査しその鞆を押収したうえ、その場で彼を逮捕した。その中には大量の麻薬が入っていたのである。担当の警察官から多額の賄賂を要求されたが、Aさんはそれに応じなかった。そして結局、懲役10年の有罪判決が言い渡され、彼はそのまま服役する身となった。

会社から懲戒免職の通知が届き、日本にいた妻から協議離婚申立書が送られてきた。現地の女性とグルになって自分を陥れた警察官を憎み、解雇した会社や離婚した妻を恨み、自分の理不尽な人生に絶望して、彼は獄中で何度も自殺を企てたが死ねなかった。そんな彼を現地の教戒師が訪ねてきて聖書を差し入れてくれ

た。むさぼるように聖書を読んだ彼は、無罪なのに自分を十字架につけて殺そうとしていた人たちを赦したキリストの姿に感動し、神を信じて救われた。

希望の神により自分の将来に永遠の希望を見出したのである。10年の刑期を終えて出獄した彼は、起業して成功し、クリスチャンの女性と再婚し、希望を持って生活している。まさに希望は生きる力であり、将来を築き上げていく原動力である。聖書こそが私たちに真の希望を与えてくれる。

「希望とは、どんな暗闇の中にあっても、光を見出せることである」

(デズモンド・ツツ大主教：ノーベル平和賞受賞者)

「主を待ち望む者は新たな力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない」

(イザヤ40:31)

ささき みつお (弁護士)

## 看護師 中谷先生による 健康相談窓口

皆さん、こんにちは。今年も桜の花は早々と散り去っていきましたね。4月1日に大学・大学院の入学式がありました。別れ・出会いで学校は巡っています。おかげさまで、本学科の学生さん救急救命士志望をしていた39名は無事に国家試験にも合格していました。次の学生さんや大学院生さんを育てるために、一緒に学んでいきます。

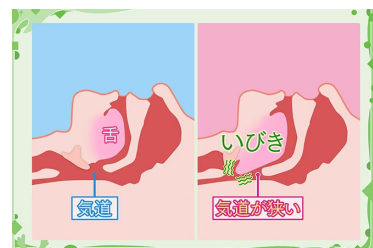
皆様に報告があります。「犯罪種別に応じたオーダーメイド通信教育プログラムの有効性 - 社会復帰への道標 -」という内容で、国の税金から成り立っている研究費をいただけることになりました。この研究費を使って、これから、必須に学んでいただきたい健康に関する内容、自分史を振り返る、社会復帰への道のりなどにおいてのテキストを作成していく予定です。多くの方々に受けていただきたいと考えています。参加費はもちろん無料です。テキスト等も無料でお送りいたします。大変申し訳ありませんが、通信教育になるため通信費のご負担(83円程度を2・3回程度)はお願いしたいと思います。これから、テキストを作成していきます。夏から秋ごろには発刊していきたいと考えています。募集はテキストが出来上がる頃に行います。少々、お待ちください。

私ごとでは、3月上旬に父親とベトナム旅行へ行ってきました。ハノイはベトナムの北部にあるので、日本と気候がそんなに変わらず、ハロン湾と世界遺産にも登録されている鍾乳洞の観光をしてきました。山口県の秋芳洞よりも美しかったです。内緒ですけど…。ベトナムは4回目の訪問になるのですが、都市はますます進化を遂げています。ベトナムはベトナム戦争によって高齢者はそれほど多くなく、若い人たちが溢れて活気に満ちています。結婚ラッシュでもあります。

しかしながら、経済は必ずしも上向きではなく、頭打ちで徐々に下がってきているような感じです。先日ベトナム人の友人とお話しましたが、ベトナムは発展してきてはいるが、まだまだ働く場が限られており、生活も一部の人しか豊かにはなれないと言っていました。平均月収も日本円で4万円程度です。ベトナム人は日本の生活に憧れて、来日されていますが、日本ももっと頑張らないといけませんよね。海外を旅すると、日本も客観的に見られます。食事は一番ですけどね。

今回は、いびきについてお話をしていきたいと思います。同室者の方にもいびきをかいておられる方がいるのではないのでしょうか？もしくは、いびきの指摘をされてはいませんか？いびきは睡眠の質を低下させる、同室者の睡眠を妨害することがあります。さらに、脳卒中や高血圧、糖尿病、心筋梗塞などのリスクが高まるとも考えられています。

いびきはあおむけになった時に何らかの原因によって舌の根本が落ち込み、気道が狭くなることで起こります。そして、狭くなった起動を空気が通る際に周囲の粘膜が振動していびきが起こります。



#### <いびきをかきやすくなる原因>

・疲れ・飲酒・口での呼吸・花粉症やアレルギー性鼻炎・閉塞性睡眠時無呼吸症

閉塞性睡眠時無呼吸症になる人は成人で2～9%と言われています。症状を指摘されても受診行動に移せる人は多くありません。性別を比較すると、特に男性に多く、女性と比較し4倍以上にもなります。また、肥満ではそのリスクも高くなります。重症の閉塞性睡眠時無呼吸症は、死亡リスクも高いです。

1. 日中、とても眠くなることはありませんか？
2. 自動車追突事故をよく起こす

これらは、夜間の睡眠時に無呼吸によって酸素がいきわたらないことや、熟睡できていないことが原因となります。この状態が続くと、自動車での死亡リスクがあがるだけでなく、高血圧、心不全、生命に関わる不整脈が起こることもあります。

このような方がお見えになりましたら、卒業後には必ず、呼吸器内科を受診して担当医師に、睡眠時に無呼吸を起こしていることを伝えて早めの治療をおすすめしたいです。近年では、CPAP（シーパップ）といいこのような呼吸器を装着して夜間睡眠をするという治療が一般的です。見た目は大がかりですが、マスクを当ててスイッチを押して休むだけになります。睡眠時に無呼吸が起きている場合、機器が感知して呼吸を助けて酸素を自動的に入れてくれる機器になります。私の友人や親戚も使用しています。病気は予防することが大切です。





# 福音たより

■カトリック麴町教会（聖イグナチオ教会）より許可を頂き、ホームページのミサ説教を原文ママ転載させて頂きます。

山内豊助祭

## 主の受難

私たちの主イエス・キリストは壮絶な最後を迎えました。十字架に向かつていくその姿は、普段私たちが思い描くキリストの姿とは違っています。皆さんはイエス・キリストを思い描く時、どのような姿を思い描くでしょうか。丘の上で弟子たちに御言葉を語っている姿ですか。それとも復活の栄光に光り輝く姿でしょうか。しかし、本日目にしているのは、イエス・キリストの葛藤し、悶え、痛めつけられ、弱り果てた姿です。今日読んだイザヤ書にもこう書かれています。「見るべき面影はなく、輝かしい風格も好ましい容姿もない。彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、多くの痛みを負い、病を知っている。彼はわたしたちに顔を隠し、わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた」。十字架上のイエス・キリストに対する民衆の印象はこのイザヤの預言通りだったでしょう。

皆さんはこのような姿になっているキリストから目をそらしたいでしょうか。キリストはもつとたくまし

く、光り輝く方でないといけないと思うでしょうか。確かにそのような姿は主が変容なさった時に見ました。しかし、十字架上のイエス・キリストはその正反対の姿をしています。弱り果て、力もなく、侮辱の対象とされていて、目を背けたくなるような姿をしています。マルコ



による福音では、ローマの百人隊長が、弱り果て、力もないイエスを見て「本当にこの人は神の子であった」と言いました。私たちは弱り果て、無力に見えるイエス・キリストの姿に、神の子だと言えるでしょうか。すべての人を愛しきつたイエスの人生。その人生は順風満帆で、楽しい日々の連続ばかりではありませんでした。確かに多くの人がイエスの教えを聞きに集まってきた頃もありましたし、多くの喜びあふれる出来事もあったでしょう。一方で、イエスの人生は挫折の連続でもありました。多くの人から反感を買い、弟子たちはイエスのメッセージを理解しないし、拳句の果てには信賴していた弟子たちにも裏切られ、見捨てられて十字架につけられてしまします。傍らから見れば失望してもよいところではありませんが、イエスは神と人々への愛を貫き通します。



イエスは十字架上で「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになつたのですか」と叫びます。これは絶望の叫びに聞こえます。しかしそれはちよつと違います。詩編22を読んでみればわかりますが、これは絶望の淵に立たされている状況であっても、私は神を信頼するという詩です。イエスの激しいまでの神と人への愛が叫びとなって表れています。そのように人々に侮辱され、傷つけ、痛めつけられたにも関わらず、激しく愛しきつて死んでいったイエスの姿を見て、百人隊長は「本当にこの人は神の子であつた」と言います。そのイエスの愛の激しさを見て、思わず口に出た言葉であつたらうと思います。そう考えてみると、神の愛とはそれほど激しいものだとわかります。十字架はキリスト教の象徴でもあります。それは神の愛の激しさを象徴するものであると思います。そしてイエスの激しい愛は、人類一般に向けたものではなく、私たち一人ひとりに向けられていることを思い起こしましょう。イエスは死の線を越えてもあなたは愛し抜かれた、ということをお忘れはいけません。

高祖 敏明 神父

## 復活の聖なる徹夜祭

皆様、主のご復活おめでとうございます。この聖堂の献堂25周年を迎えた今年、こうして私たちが主の祭壇を囲み、光の祭儀を祝つて復活の口ウソクを灯し、一緒に神の御言葉を聞き味わうことができること、また洗礼と感謝の祭儀によって主の過越、受難と十字架を通して死から命へと移られるキリストの過越の神秘を祝うことができますことを、神様に感謝いたします。過越の勝利がなつたその頂点を祝う今日、洗礼の恵みを受けられる皆様おめでとうございます。教会共同体として皆様の喜んで迎えますし、共に過越の神秘を生きてまいりましょう。

本日の聖書朗読は、皆様もお気づきになつた通り、私たち人類の救いの歴史の展開を教えてください、そのポイントを教えてください。少しそれを味わつてみたいと思います。創世記の人間の創造、それを受けて祈りの中では「聖なる父よ、あなたは人間をすぐれた方法でお造りになりましたが、さらにすぐれた方法があつてくださいました」と祈りました。人間は神にかたどつて創造された。それだけでも十分価値があるのに、さらに優れた方法で贖われた。どういふふうに贖つてくださったのか。贖うというのは、本来代価、払うべきお金を払つて奴隷を自由にすることを贖うという

意味で言っています。そういう目で2つ目の朗読、出エジプト記を読んでもみますと、紅海を渡ること、それがエジプトの奴隷状態からの解放であり、脱出である。それを受けて「救いの源である神よ、あなたは紅海が洗礼の泉をかたどり、解放された民はキリスト信者の姿を表すことを教えてくださいました」というふうに祈りました。紅海を渡るということは、洗礼による解放の前表、洗礼による解放が来て本物が来たという意味だと思います。シナイ山のふもとでの契約、旧約と、主イエスの血による新しい契約が背景にあります。それを踏まえて先ほどの祈りは「すべての人が、信仰によって民に約束された祝福にあずかり、あなたの霊を受けて新しく生まれることができますように」とお祈りいたしました。

でも、どうすれば神様の霊を受けて新しく生まれることが可能なのでしょうか。エゼキエルの3つ目の朗読に、新しい心、新しい霊という言葉が私たちに伝えられました。「わたしが清い水をお前たちの上に振りかけるとき、すべての汚れとすべての偶像から清める（解放する）。わたしはお前たちに新しい心を与え、新しい霊を置き、わたしの掟に従って歩ませ、お前たちはわたしの民となり、わたしはお前たちの神となる」。新しい贖いによって創造が行われるんだ、と教えています。この3つの旧約から取られた朗読を聞いていますと、長い時間をかけて神様が私たちと結ばれる契約を軸にして、救いの歴史を少しずつ少しずつ実現に向けて引っ張ってき

ておられることがよく読み取れます。そして、旧約による解放、新約による解放、新しい創造も、私たち人間の間ではなくて、全て神様の方からの恵みとして神様の方から働きかけるということで実現していることがわかります。人間をそれほど神様は慈しんでおられる、大事にしておられるということを読み取ることができます。

しかし、同時に質問がわいていきます。神の私たちへの愛とか慈しみはわかったけれども、奴隷を解放する贖いの代価は、誰がどう払ったんですか？先ほど山内さんが読んでくださったマルコの福音書では、週の初めの日の朝早く、婦人たちがイエスの遺体に油を塗るために日が昇ると同時に墓へ出かけていく。イエスの葬りの時に十字架から降ろして亜麻布で巻き、岩を掘って作った墓の中に遺体を収め、墓の入り口には、誰も人が入らないように石を転がしておいた。今日の朗読に登場するマグダラのマリアらの婦人たちは、そのイエスの遺体を収めた場所を見つめていた人々です。行ってみると石はすでに転がしてあり、墓の中で白い衣を着た若者が「あなた方は十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活された」と告げる。婦人たちは驚き震え上がり、墓を出て逃げ去っていきます。マルコは彼女たちが恐れ、正気を失っていたところまで書いています。イエスのむごい十字架上の死というショックが大きいのか、死と復活とが結びつかない。福音書を読むと、弟子たちがなかなか理解できなかった



ということが、どの福音書にも書いてあります。そして、それはおそらく私たちにとっても同じなんでしょう。

ルカ福音書のみがエマオの弟子たちに登場させて、イエスの言葉を伝えていきます。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずではないか」。聖書を悟る恵みを受けて初めて、私たちもそういうことがわかるようです。メシアの受けた受難と十字架こそが、私たちが解放される贖いの代価であるということをお教えています。新約聖書の福音書の後続に続くいろんな手紙を読みますと、そういう理解に至ったことが書かれています。例えば、ヘブライ書（9章15節）。キリストは新しい契約の仲介者である。前の契約の時に犯された罪を贖うための死が実現したので、召された者は約束された永遠の遺産を受ける。ペトロの手紙（1ペトロ2章24節）にも、イエスは十字架の上で私たちの罪を身に負われた。それは私たちが罪に死んで、正しく生きるためである。私たちはキリストの傷によっていやされた、と私たちに教えています。今日読まれたパウロの手紙、ローマへの手紙にも、洗礼とというのは水で汚れを洗い流すものというより、水と聖霊の注ぎによってキリストの死と復活にあずかるものだ。キリストと共に古い自分に死んで罪から解放され、御父によって復活させられたキリストと共に新たな命を生きることにほかならないんだと教えています。

「神にかたどって創造され、さらにすぐれた方法によってあがなってくださった」ということの意味がそこに示されています。当初からの、創造の初めからの神のご計画に基づき、主イエスが受難、十字架での死によって贖いを果たしてくださった結果、御父が主イエスを復活させ、神との新たな関わりに入る門を開いてくださった。信じる人には新しい心、新しい霊が与えられます。洗礼も感謝の祭儀もそれを実現し、パンとぶどう酒を聖別して祝う感謝の祭儀は、キリストの言葉に従ってキリストの死と復活を記念し、再現する祭儀であります。ですから洗礼も感謝の祭儀も、あるいはこうして御言葉を聞いていることも「お前たちはわたしの民となり、わたしはお前たちの神となる」ということが実現しているその場であります。そうした神様からの恵みに心から感謝しながら、私たちも信仰を深める恵みをさらに願いましょう。そして、洗礼式とパンとぶどう酒の祭儀をこれから一緒に祝って参りましょう。



## HAPPY DAYS

当事者Kさんが、自分で育てたお花の苗を、私の自宅の庭に何十個も植えてくれました。私の誕生日にはチューリップや他のお花の植木もくれました。お花に詳しいので、理由を聞くと、刑務所で内掃工場にいて、掃除、草刈、花壇の手入れをしていたとのことでした。

ある日、私が慣れない運転で車をぶつけてしまった時、すぐに車屋さんに手配をしてくれて、次の日にはパーツが届き、Kさんが修理してくれました。刑務所で車の整備士の資格を取得していたので、車にも詳しいです。他にもトイレが詰まった時や、水漏れなどの時もすぐに対処してくれるので、刑務所での職業訓練は社会で役に立つと思いました。

今年から、長男と長女が、教会の聖体拝領の勉強会に毎週日曜日に出席しているのですが、それもKさんが前日に子供達を自宅に泊らせて、朝連れて行ってくれています。終わったらご褒美のマクドナルドで昼食を食べさせてくれています。子ども達が目を輝かせて勉強会で学んだことを話してくれるのが嬉しく、休ませたくないと言っていました。Kさんは、自分の子どもが小さい頃に刑務所に入ってしまったので、今、子育てをさせてもらっていると言っていました。



また、先日驚いたことは、Kさんが信号待ちの時に、後ろからぶつけられたそうですが、お互いの車に傷がなかったので、警察を呼ばずに許したそうです。昔のKさんだったら、「当たってもらってラッキー」と思っていたらしいのですが、今のKさんは、昔とは別人でした。私達家族からしたら、Kさんは天使みたいな存在なので、これから天使と呼ぼうと思います。

## 受刑者の皆さんへお知らせ

- 移送・出所される方は必ずご一報下さい。MLP（文通）に参加している方は文通相手へのお手紙のみ出して頂ければ大丈夫です（差出人欄の住所で確認できるため）。
- お問い合わせが多い内容（例：文通相手の追加を希望したのにまだ決まっていない等）は、返信にかえてお知らせ欄で回答させて頂くことがあります。毎月ご確認頂くようお願い致します。
- MLP ペア決め現状：出所日が近い受刑者を優先しておりますが、4か月以上お返事が届いていない受刑者の方は文通相手の追加を承りますので、「文通担当」宛にお手紙お出し下さい（お時間かかる場合があります）。
- 冊子 NEXT は寄贈終了、サインズは休刊に伴い、たよりへの同封が終了しました。
- フランシスコ事業部は、会費を全額納付された方のみのご利用となります。フランシスコ事業部を利用しない方は、会費の分納が可能です。なお、マザーハウスに送られた切手やお金は返還できません。あらかじめ資料をよく読み、計画的に送られるよう何卒お願い致します。
- 会費やフランシスコの費用を切手で納める場合（84円以上の切手のみ使用可）は、1枚につき現金交換手数料10円がかかります。※郵便局の価格改訂に伴い、2023年4月から手数料が1枚5円から10円に変更になりました。  
（例）100円切手×5枚の場合：  
500円－手数料10円×5枚分＝  
受領額450円
- 下記に当てはまる場合は、事務局までお知らせ頂きたく、宜しくお願い致します。
  - ・ 突然たよりが送られなくなった。
  - ・ 刑期（出所日）が変更になった。
  - ・ 入会申込書もしくは会費を送ってから2ヶ月が経過してもマザーハウスから何も届かない。
  - ・ 聖書（寄贈された中古のものです）の送付を希望する（送料800円分が必要です）。
- たよりでは、投稿文以外の普段のお手紙から抜粋して掲載することがあります（受刑者の皆さんは、入会申込書に同意欄があります）ので、「掲載してほしくない」というお手紙・絵画につきましては、都度「掲載不可」と明記して頂きたく、宜しくお願い致します。

## 編集後記 by 編集局

新年度を迎え皆さまいかがお過ごしですか？気持ちを新たに希望を持って進んでいきたいですね。マザーハウスへのお手紙お待ちしております。





## マリアコーヒー (ルワンダ・コーヒー)



製造から販売まで、元受刑者が携わっております。

コーヒー (粉) 200g …1188 円 (税込)

コーヒー (豆) 200g …1188 円 (税込)

カフェドリップ 10g( 1 杯分) …128 円 (税込)

継続して購入・販売してくださっている皆様 (順不同)

カトリック茅ヶ崎教会／カトリック北仙台教会／カトリック所沢教会／カトリック浜松教会／カトリック東山教会／カトリック布池教会／カトリック菊名教会／カトリック中和田教会／カトリック新子安教会／カトリック碑文谷教会／カトリック桃山教会 (平和環境部)／カトリック東仙台教会／カトリック春日部教会／カトリック足利教会／カトリック神田教会／カトリック太田教会／カトリック大分教会／カトリック西千葉教会／カトリック下井草教会／カトリック新潟教会／カトリック多治見教会／カトリック芦屋教会／カトリック鷺ノ宮教会／カトリック松戸教会／ドン・ボスコ社／クリスト・ロア宣教修道女会／日本カトリック神学院／聖母訪問会

### ルワンダの祈り



ルワンダでは、1994 年、フツ族によるツチ族の大虐殺がありました。史上稀に見る残虐な内戦によって、ルワンダの人々は心身ともに非常に深い傷を負います。しかし内戦終了後、恨みや憎しみから、復讐が復讐を呼ぶ状況に陥りかねない中、ツチ族の人々は、復讐ではなく、和解と共生を選択しました。マリア・コーヒーは、この和解と共生の地から届けられた生豆を使用しております。

## マリアの紅茶



オーガニック  
純スリランカ産セイロンティー

50g (2g 入り 25 袋) … 864 円 (税込)

## 古本募金 (きしゃぽん)

書籍やDVDを下記にご寄付頂くと、マザーハウスに還元されます。

送り先:

〒358-0053 埼玉県入間市仏子916

マザーハウス きしゃぽん係

TEL: 0120-29-7000

\* マザーハウス事務所への送付はご遠慮ください。

## 獄中POSTシリーズ

引き継ぎ作業中のため、一時的に活動を中止しております。再開次第お知らせ致します。

## ご支援

正会員(一口5000円/年) 賛助会員(一口3000円)  
社会復帰支援(ご寄付)を随時募集しております。

振込口座名: トクヒ) マザーハウス

郵便振替口: 00170-0-586722

みずほ銀行: 新宿支店 普通口座 2376980

\*info@motherhouse-jp.org 宛に内訳をご送付願います。

洋服等の物資の送付先:

〒130-0024 東京都墨田区菊川1-16-18-1F

マザーハウス TEL: 03-6659-2110

随時ボランティアの方を募集しております。

TEL: 03-6659-5260

メール: info@motherhouse-jp.org

マリアコーヒー&マリアの紅茶のご  
注文はウェブサイト・メール・FAX  
にて承っております。

FAX: 03-6659-5270



ご注文・支援詳細

### マザーハウスたより 2024年4月号

発行日: 2024年4月15日 発行責任者: 原田 昇

〒130-0024 墨田区菊川1-16-18-3F NPO 法人マザーハウス